



Le Jardin en Mouvement

Makino talk scene Vol.4 植物の話をしよう。

動
い
て
い
る
庭
庭
の
在
り
方



フランスの庭師 ジル・クレマン

ドキュメンタリー映画

「動いている庭」上映会+座談会

2017 11.19 sun

 高知 牧野植物園
The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

上映会「動いている庭」

MOVIE

[時間]13:00開場 13:30~14:55 [場所]本館 映像ホール
 [定員]140名 ※座談会と入れ替え制 [料金]500円(未就学児童無料)
 [参加方法]11:30~本館 ウッドデッキにて整理券配布(先着順)※1人2枚まで
 ※13:00より整理番号順に10名程度ずつご入場いただきます。座席指定はありません。

フランスの庭師 ジル・クレマン ドキュメンタリー映画「動いている庭」

監督・撮影・編集・製作:澤崎賢一

2016年/日本・フランス/85分/HD/日本語字幕

本作は、ジル・クレマン氏の自邸の庭などを舞台に「できるだけあわせて、なるべく逆らわない」というクレマン氏の言葉が示す庭づくりの思想に寄り添い、映像作家 澤崎賢一氏によって撮影された民族誌的ドキュメンタリー。瑞々しい庭の記録映像とテキストの断片で表された本作は、見る人に清々しさと安らぎを与えながらも、庭とは何かを問いかけてくる。

座談会「動いている庭～庭の在り方」【参加無料】

TALK

[時間]15:10開場 15:30~16:20 [場所]本館 映像ホール
 [定員]140名 ※上映会と入れ替え制
 [参加方法]11:30~本館 ウッドデッキにて整理券配布(先着順)※1人2枚まで
 ※15:10より整理番号順に10名程度ずつご入場いただきます。座席指定はありません。

■出演者/澤崎賢一(映像作家)

山内朋樹(京都教育大学美術科講師、庭師)

エマニュエル・マレス(工学博士、奈良文化財研究所客員研究員)

瀧口宗弘(牧野植物園 栽培技術課課長)、山ノ内崇志(牧野植物園 学芸員)

園内散策【予約不要・参加無料】

WALK

[時間]16:30~(30分程度) [参加方法]本館 映像ホール入り口付近に集合
 [定員]40名(先着順) ※小雨決行・雨天中止
 座談会のメンバーとともに、職員の解説を聞きながら園内を巡ります。



●ジル・クレマン Gilles Clément

1943年生まれ。庭師、風景家、小説家など、数多くの肩書きをもつ。植物にとどまらず生物についての造詣も深く、カメルーン北部で蛾の新種(*Bunaeopsis clementi*)を発見している。庭に植物の動きをとり入れ、その変化と多様性を重視する手法を用いている。フランスでは、アンドレ・シトロエン公園、アンリ・マティス公園、ケ・ブランリー美術館の庭などを手がけている。1991年、庭園論「動いている庭」を発表。

●澤崎賢一 Kenichi Sawazaki

1978年生まれ。映像作家・アーティスト。研究者や専門家に密着しながら世界各地の多様な自然文化を記録し、映像作品を制作。初めて制作した長編ドキュメンタリー映画「動いている庭」が「第8回恵比寿映像祭」にて初公開。主な展覧会に、2015年個展「Linguistic Montage」(MAXXX - Project Space, シェール、スイス)、2013年、二人展「Domestic Archaeology」(GALLERYTERRA TOKYO, 東京)など。

●山内朋樹 Tomoki Yamauchi

1978年生まれ。京都教育大学講師(美術科)。現代ヨーロッパの庭や修景をかたちづくる思想と実践を考察しつつ、その源泉を近現代の庭園史に探っている。また、在学中に庭師をはじめ、研究の傍ら独立。主な仕事に「鹿と子の庭」(大津市)、「八草の庭」(京都市)。庭に焦点をあてた芸術活動に「地衣類の庭」(第8回恵比寿映像祭)など。翻訳にジル・クレマン著「動いている庭」(みすず書房)。

●エマニュエル・マレス Emmanuel Marés

1978年生まれ。工学博士、奈良文化財研究所客員研究員。専門は日本建築史・日本庭園史。2015年2月に開催された「ジル・クレマン連続講演会」を企画するなど、日本庭園の研究を通して日仏の文化の交流に尽力している。主な著書に「縁側から庭へ」(あいり出版)、編集に和英のシリーズ「京の庭の巨匠たち」(京都通信)など。

表面写真/上:ジル・クレマン氏の自邸の庭 中・下:牧野植物園 土佐の植物生態園



「共催」ボタニカルスタジオ、公益財団法人高知県牧野記念財団

「動いている庭」上映会+座談会

フランスの庭師 ジル・クレマン
ドキュメンタリー映画

mTs
Makino talk scene

動いている庭 庭の在り方

2017 11.19 sun

Makino talk scene Vol.4

植物の話をしよう。

植物にまつわるさまざまな情報の発信・交流のためのイベント「マキノ・トークシーン」Vol.4では、パリのアンドレ・シトロエン公園、ケ・ブランリー美術館の庭などを手がけたことで知られる、フランスの著名な庭師ジル・クレマン氏を追ったドキュメンタリー映画「動いている庭」の上映会と、監督の澤崎賢一氏、エマニュエル・マレス氏、山内朋樹氏ら本作の制作陣と当園の職員による座談会を開催します。

ジル・クレマン氏の庭づくりの基本姿勢「できるだけあわせて、なるべく逆らわない」を、ジル・クレマン氏の自邸の庭の映像とともに映し出す「動いている庭」は、従来の庭づくりに対する概念の再構築を促す作品です。座談会では、本作に関わりジル・クレマン氏の思想に感銘を受けた澤崎氏ら映画制作陣と、牧野植物園の園地づくりに携わる職員らの対話の中で、庭の在り方を探ります。ぜひ、映像と座談会をあわせてお楽しみください。

[開園時間]9:00~17:00 [休園日]年末年始(12/27~1/1)

[入園料]一般720円(高校生以下無料)、団体620円(20名以上)、年間入園券2,880円(1年間有効のフリーパス)

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

□駐車場無料(普通車195台、バス8台) □JR高知駅から車で約20分、高知自動車道「高知IC」から五台山方面へ約20分。空港からは「高知南IC」をご利用ください。 □牧野植物園へはJR高知駅発の観光バス「MY遊バス」(毎日運行)をご利用ください。

高知 牧野植物園

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

〒781-8125 高知市五台山4200-6

TEL 088-882-2601(代表)

www.makino.or.jp